

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成19年11月25日

## 【評価実施概要】

事業所番号	0172902702		
法人名	有限会社 Freedom		
事業所名	グループホームプランタンV		
所在地	旭川市9条通15丁目24番地 (電話) 0166-25-0656		
評価機関名	(有)ふるさとネットサービス		
所在地	札幌市中央区北1条西5丁目3 北1条ビル3階		
訪問調査日	平成19年11月21日	評価確定日	平成19年12月17日

## 【情報提供票より】(平成19年10月31日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	平成 18年 3月 31日		
ユニット数	2ユニット	利用定員数計	18人
職員数	12人	常勤6人, 非常勤6人, 常勤換算4.8人	

### (2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り		
	2階建ての	1~	2階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	20,000円	その他の経費(月額)	円
敷金	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり		1,200円

### (4) 利用者の概要(11月21日現在)

利用者人数	18名	男性	5名	女性	13名	
要介護1	4名	要介護2	5名			
要介護3	6名	要介護4	1名			
要介護5	2名	要支援2				
年齢	平均	83歳	最低	60歳	最高	95歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	旭川ペインクリニック、ファースト歯科、林歯科
---------	------------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

この施設は、理事長の長年の想いから設営されてきた、5件目のグループホームです。市内のほぼ中心地にあり、市役所や大型スーパー、商店が近くにある利便性の良い、生活観を感じられる場所になっています。「家庭的雰囲気の中で、個人を大切に、自分のペースに合わせて暮らす。」を基本理念に、職員全員が利用者と寄り添い、向き合っているホームです。低所得者に、低料金で安心して暮らせるホームとして市内に確立され、利用者も生き生きと暮らし、職員も同じ目線で応援している姿が見られます。このホーム特有のマッサージもサービスに組み込まれ、職員の暖かい意気込みが感じられる今後楽しみな施設です。

## 【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	今回が初めての自己評価、外部評価となっています。
重点項目②	今回の自己評価に対する取組み状況(関連項目:外部4)
	全職員で自己評価に取り組み、内容を検討してまとめています。全職員が評価の意義を理解しており、日々のケアサービスを振り返りながら質の向上につなげるよう取り組んでいます。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	今年度2回の運営推進会議が町内会長、病院関係者、施設長、介護支援専門員、地域包括支援センター職員、ホーム職員の参加により、ホーム案内や報告などで開催されているが、地域との掛かりが構築されていないことから、定期的な開催には至っていません。今後は、地域に広く声掛けを行ない、参加を求めることにより地域定着を目指し、そこから様々な意見や要望がだされ、ホームの反映につなげられるように期待します。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	金銭出納の毎月の確認や、面会時に職員は、日頃の様子や健康状態、受診の状況などを随時報告をしています。日頃から職員が積極的に話し掛け、家族との交流を図り、気軽に意見、要望を話せるような関係作りを実践しています。意見や要望があった時は、ミーティングを通して直ぐに反映できるように対応しています。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	近隣の中学校から生徒が訪問し、歌や音楽の披露があったり、ホームから行事に参加したりして交流を深めているが、地域との係わりや協力関係がまだ構築されていない。災害時の協力を得ることや、地域に根ざすためにも積極的な働き掛けが期待されます。

## 2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	開設して1年半が経過し、開設当初職員と理事長の想いが組み込まれた理念が作成され、ホーム内の要所に掲示されている。しかし、地域密着型としての内容が組み込まれていない。	○	地域密着型サービスとしての意義を全職員で確認し、ホームと地域の関係性を深められるようなホーム独自の理念を作りあげることが期待する。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	事業所内の要所に理念が掲示され、職員は理念を念頭においた日々のケアサービスに取り組んでいる。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	近隣の中学校から生徒が訪問し、歌や音楽の披露があったり、ホームから行事に参加したりして交流を深めているが、地域との係わりや協力関係がまだ構築されていない。	○	地域交流については職員も必要性を理解しているが、十分な状況には至っていない。交流を深めるために、地域の方が気安く、立ち寄りやすい環境を作ったり、ホームの行事に招くなどの具体的な取り組みを期待する。
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	施設長、職員ともに評価の重要性や意義を理解しており、全職員で評価に取り組まれている。作成している過程においても、多くの気付きがあり今後のケアに活かせるよう取り組んでいる。		

旭川市 グループホーム プランタンV

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は、推進委員を決め開催されている。家族や地域包括支援センターの職員を含め開催されているが、地域の協力が少ないため、地域密着型として理解を得るまでには至っていない。	○	地域の方々へ積極的な呼び掛けを行ない、より以上にホームの理解を深められるよう、充実した内容で運営推進会議が開催されることを期待する。
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	地域密着型サービスとして市町村との連携は不可欠であるが、運営推進会議には地域包括職員は参加されるが、ほかの職員の参加は少なく、また、頻回に出向いての行政との交流は少ない。	○	生活保護担当相談や市主催のイベントや研修には積極的に参加をしているが、地域密着型サービスとして、自ら事業所の取り組みを積極的に報告したり、栄養士に栄養評価を相談するなど、行政の協力が得られることを期待する。
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月の請求書発送時に預り金の報告を同封している。家族の面会時に日頃の様子や健康状態、受診の状況などを随時報告している。しかし、職員の移動や外出状況、暮らしぶりが細かく伝えられていない。	○	家族に利用者がどのような暮らしぶりか、外出時の状況、ホームでの生活の様子を広報誌の作成や一人ひとりの様子を担当がお知らせの形で報告できるよう期待する。
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	来訪時や電話の際に、職員から積極的に話し掛け、日頃から家族との交流を図り、気軽に意見、要望を話せるよう取り組んでいる。意見や要望があった時は、会議を通して反映できるように対応している。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	利用者の不安を考え、このホームでは法人内の移動は行なっていない。離職時の対応は、利用者と職員が寄り添う関係でコミュニケーションを図り、信頼関係を構築できるようなケアサービスに努めている。		

旭川市 グループホーム プランタンV

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	施設長、管理者は人材育成の重要性を認識しており、職員の知識や経験に応じた外部研修には参加している。しかし、認知症を題材とした研修の参加は少なく、職員全員が参加するまでには至っていない。研修参加後の職員間の共有化推進と、自社内部研修の計画も検討中である。	○	職員のスキルアップを目指し、年次計画の中で研修を位置づけ、働きながらサービスの質の向上や認知症の理解が図れるよう期待する。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同一グループ内で行なわれているオーナー会議においての交流はあるが、ほかのグループホームとの交流は行なっていない。研修に参加した際に、ほかの事業所職員との交流が情報交換の場となっている。	○	施設長や管理者だけでなく、職員も含め、ほかのグループホームの見学や交流を図る機会を設け、サービスの質の向上に役立てる取り組みを期待する。
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前には利用者、家族の方と十分に面談を行ない見学後入居となっている。入居当初に本人がすぐにホームに慣れない場合は、家族に來所して頂いたり、信頼関係を築きながら、利用者及び家族が安心、納得できるよう適切なサービス開始の支援を行なっている。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者一人ひとりの得意なことを見極め、声掛けを行ない場面作りの支援が行なわれている。また、利用者の経験から料理の味付け、調理方法、生活の知恵など利用者から教えてもらうこともあり、ともに支え合う関係作りが構築されている。		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	職員は、利用者一人ひとりの状態、要望を細部にわたり把握できるよう努めている。また、利用者との会話や家族からの情報収集を行ない、利用者の意向を尊重するよう取り組んでいる。各種記録により、職員は情報の共有を図り、日々のケアに活かしている。		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	介護支援専門員を中心に職員と一緒に、本人や家族の意見や意向を尊重し、毎日の記録をもとにケアカンファレンスを行ない、きめ細かい介護計画を作成している。家族には、利用者の現在の心身状態を報告し、意見や要望を聞き計画に反映させている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	基本的に介護計画は6ヵ月毎に定期見直しを行なっている。また、利用者の心身状況に変化が見られるときは、本人、家族と話し合い医療機関とも相談しながら、現状に即した計画見直しを行なっている。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者や家族の希望する掛り付け医での受診支援、職員と買物同行、外出行事や外食時にはボランティアの協力がある。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族が希望する掛り付け医での受診支援を行なっている。受診内容は、その都度電話や面会時に家族へ報告し、報告内容は記録として残されている。職員は常に利用者の健康状態に配慮しながらケアサービスを提供している。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	契約書に重度化や終末期に向けた指針が整備され、家族と方針が共有できる体制になっている。看取りに近い形でケアに係わった経験もあり、今後も家族と職員、医療機関との連携で、密に話し合いを待たれることをさらに期待する。		
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人情報を守ることの大切さは、職員も十分に認識しており、一人ひとりの記録やファイルについては保管が徹底されている。しかし面会時の訪問記録については、順番に記入するようになっており、個人情報の適切な取り扱いとなっていない。	○	面会者の記録から個人情報が漏れないように、記入の目的を明確にし、個表を利用するなど改善策の検討が望まれる。
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一日のスケジュールはあるが、利用者は自由に過ごされている。ホーム側の都合に合わせるのではなく、利用者の生活歴や体調やペースを大切にし、その人らしい生活が送れるように支援している。		

旭川市 グループホーム プランタンV

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の際にはスタッフが同席して同じ食事を取りながら楽しく食事ができるよう支援している。利用者の希望や季節感のある食材を用いた献立が作られ、利用者の力量に応じて、利用者と職員が食事の準備や後片付けなどを一緒に行なっている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	基本的な曜日は設定されているが、利用者の状況の変化にも、その都度対応されている。以前デイサービスに使われていた大きな浴槽で、職員の見守りや介助でゆったりと入浴されている。現在、夜間の入浴を希望されている方はいない。		
<b>(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者のできることや趣味を活かせるような支援、食事の準備と片付けや生活歴を活かした役割、楽しみごとなど日常の暮らしに生甲斐や目的が持てるように支援している。ホーム特有である週2回のマッサージも行なわれ、利用者に好評となっている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	近所の商店への買物、散歩や行事でのドライブなど、利用者一人ひとりの希望に添えるような外出支援を実践している。息抜きや気晴らしができるように、積極的な声掛けが行なわれている。		
<b>(4)安心と安全を支える支援</b>					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	全職員が鍵を掛けない安全な暮らしについて理解しており、玄関は日中施錠していない。職員は、外出しようとする利用者にはさりげなく声掛けを行ない、一緒に付き添うようにしている。改装や増築部分が多くあり、構造上やむを得ず施錠している所はある。		

旭川市 グループホーム プランタンV

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	災害時の避難訓練はまだ行なわれていない。緊急連絡体制は整備されているが、マニュアルの整備、独自の訓練や消防署と協力しての訓練を計画しているところである。町内会や地域住民への働き掛けも行なわれておらず、協力体制を築くまでには至っていない。	○	利用者の安全や生命を守るためには、落ち着いた行動で素早く非難できるように、利用者も職員も訓練が必要である。緊急時や災害時に適切な対応ができるように、直ちに組み組んで頂きたい。
<b>(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	法人グループ内で多彩なメニューが決められ水分量も1日1300CCを目標に設定されている。食事や水分摂取量が日々記録され、職員間で共有されている。また、利用者の身体状況に合わせた調理と配膳が行なわれ、不自由な方には職員が適切に対応している。		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
<b>(1)居心地のよい環境づくり</b>					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	施設内には観葉植物が置かれ緑を大切にし、共用空間は明るく広くゆったりしており、利用者は思い思いの場所でくつろげるようになっている。気になる臭いもなく、音や光、温度なども適宜調節されている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には、利用者が使い慣れた馴染みの家具、装飾品、仏壇などが持ち込まれており、以前の生活と変わりなく居心地良く過ごせる工夫がされている。しかし、各居室にトイレが設置されているが、囲いがなくプライバシーの確保や衛生面が心配される。	○	居室の中のトイレは、利用者のプライバシーを守る重要な空間であり、特に衛生的でなければならない。日頃の清掃や清潔を確保することはもちろん、訪問者や来室者からも見えないような工夫が望まれる。

※  は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。